

二学年 学年だより

No. 9 【2月号】

令和3年2月1日発行

今年の節分は2月2日。2月2日が節分だった年は、なんと今から124年前のことだそうです。節分は2月3日というのが一般的な認識ですが、どうして今年は2月2日なのか。それは勉強の合間にちょっと検索してみてください。ちなみに、次に2月2日が節分になるのは2025年（4年後）、2029年（8年後）だそうです。次がこんなに早いと、124年ぶり！の感動が半減ですね。

節分の翌日は、「立春」です。（立春の前日が節分という方が正しいのかもしれませんが・・・）

「立春」は暦の上で春の始まりを意味します。かつては1年の始まりともされていました。厄除け・厄払いをこの立春までに済ませて、新しい年を迎えようというのも、この「立春」を大事な節目と考えているからです。

高校2年生にとって今年は、幾度とある節目のなかでも一つの大きな節目を迎えます。高校卒業後の進路決定です。進路選択は、これまでの選択とは比にならないほど、将来に大きく影響を与えるものだと思います。どこに行って何を学び、何を身に付けるのか。どのような人たちと出会い、仲間を作り、どのような時間を過ごすか。それらのすべてが、これからの「自分」という人間を形成していきます。残念ながら私は、第1希望の大学への進学は叶いませんでしたが、入学した大学では、毎日好きな分野を楽しく学び、資格を取り、今の仕事につながりました。また、一生付き合える大事な友達にも出会うことができました。もっと頑張っておけばとか、違う道を選んでいればなどと全く考えないわけではありませんが、人生は一度きりですから、今自分が選んだ道をできる限り後悔のないように過ごしていきたいと思っています。

話を戻します。2月2日の節分、2月3日の立春。一年の始まりともされる節目です。そして今年はその2月2日にセントラルマラソンが予定されています。これも何かの縁でしょうか。今までの思いをマラソンで存分に発揮し、来たる新たな勝負の一年をスタートする弾みにしてほしいと思います。今後、どのような選択をしても、自分が選んだ道に責任をもって進んでいけるみなさんであってほしいと思います。良い一年になることを願っています。（208HR担任）

地球上には、物質など目に見えるものと、精神など目に見えないものが一緒に存在していて、形はなくても感覚でとらえられる存在のことを、東洋では「気」と呼んでいます。この世にある様々な「気」の中でも、皆さんにとって大切なのは「本気」、「根気」、「元気」だと、私は考えます。

「本気」とは、まじめで真剣な気持の現れであり、本物の「気」すなわち内なる「エネルギー」そのものです。「本気」は、単なる言葉ではなく行動で表すことであり、明日ではなく今始めることであり、単に始めるだけでなくやり抜くことなのです。

「根気」とは、物事を飽きずに長くやり続ける、心に根をはった「気」を表します。「気」が心に根をはっていますから、少々のことでは動じることはありません。「根気」があるから成功するわけではありません。成功するまで続けることが「根気」なのです。

「元気」とは、心身の活動の原動力の元になる「気」を表します。「元気」とは、気持ち前向きで心が健全な状態、そして、何よりも周囲に良い影響を与え続けられる状態のことを言います。「元気」から生じる前向きな言葉は、皆さんの人生も支配すると言われています。

「気」は使えば使うほどさらにパワーアップし、皆さんの身体に宿ります。「本気」「根気」「元気」をつかって、充実した高校生活を過ごしてみませんか。皆さん一人一人が、かけがえのない、しかもたった一度しかない自分の人生の主人公なのですから。（208HR副担任）